

# 興徳寺便り

第144号

(復刊第69号)

令和6年お盆

わたしが死ななければならぬのなら

わたしが 死ななければならぬのなら

あなたは、生きていなければならぬ

わたしの物語をかたり

わたしの持ちものを売り

ひと切れの布と

糸をすこし買って

(つくってほしい 白く尾の長いものを)

ガザのどこかで ひとりのこどもが

天をみつめかえす

炎のなかに 消えていった父を待ち――

だれにも別れを告げなかった

じぶんの肉体にも

じぶん自身にも――

こどもはみる、あなたがつくったわたしの風が

空を泳ぐのを

そこに 天使が 一瞬 いる

こどもは思う 愛されている、と

もし、わたしが死ななければならぬのなら

希望となれ

尾の長い 物語となれ

リファト・アルアール；1979年生まれ。ガザ・イスラーム大学で世界文学と文芸創作を教えた。ガザを代表する詩人。パレスチナの土地で、世代を超えて受け継がれる物語の可能性を信じた。2023年12月6日（この詩を書いた1ヶ月後）、イスラエル軍の爆撃の標的となり、殺害された。44歳。

今回は雑誌『現代詩手帖』5月号に掲載された詩をとりあげてみました。「パレスチナの現代詩人たち」特集号です。

この詩の舞台となっているパレスチナガザ地区、ロシアの侵攻が続くウクライナ、アフガニスタンなど今も各地で戦争、紛争が続く兵士、一般人、大人・子どもを問わず多くの人たちの命が奪われています。いずれの地にも宗教が存在し、愛、慈悲、許し、寛容、自制心・・・を説くにも関わらずです。

日蓮聖人『立正安国論』の「節」  
「汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実乗の一善に帰せよ。然れば則ち三界は皆仏国也」  
――あなたも早くその小さな心を改めて、すぐに仏の道の唯一の教え『妙法蓮華経』に帰依しなさい。そうすればこの世は、仏の国になるでしょう――

仏の国は遠いどこかにあるのではありません。この苦しみ多き世に在って皆がスナオな気持ちで全体の幸福を祈ること、それによってこの土地を仏の国に変えることができます。



世界の紛争は複雑でそれぞれが正義を主張して闘い続けています。憎しみは新たな憎しみを生み、多くの人の命と財産と途方もないお金が消えていきます。破壊・殺戮によって真の平和が得られるか？ 否！ この時代、この状況の中で仏教の果たす役割はとても大きい、と信じます。七十九回目の終戦記念日を迎えるにあたり戦争体験を語れる人もいなくなつた今こそ戦争の愚かさについて考えてみたい。



# 夏～秋の予定

**7月21日(日) 興徳寺をきれいにする日** 朝7:00～9:00頃まで  
草刈・草むしり・本堂のお掃除など、できるご奉仕を。男女年齢問わず。

**8月16日(金) 施餓鬼法要～川施餓鬼**

「施餓鬼」とは「餓鬼」の世界で苦しんでいる霊に対し、お経とともに食物・飲物を供養し救いの手を差し伸べ、私達が功德を積ませていただく法要です。

お参詣の方々のご先祖様のご回向も併せて行います。どうぞお申込みください。

また「川施餓鬼」は川で亡くなった方を供養する伝統行事です。

法要の灯をタイマツに点火し、500m歩いて芝川の畔で焚き上げます。

タイマツを持って川まで行ってくれる方、老若男女問わずお申し込みを。

《プログラム》

14:00 タイマツ製作

16:30 施餓鬼法要

18:00 点火～タイマツ行列～芝川にて焚き上げ 19時頃解散

今年新盆を迎えるご遺族・関係者の方、  
卒塔婆のお申込みと、タイマツへのご参加を

**8月25日(日) 写経と唱題行** 15:00～ 写経 16:00～唱題行



春爛漫



常境寺金森了脩式長による挙式



3月31日、副住職の結婚式。

遅れていた桜が開花、うらうらと温かな春の日の花嫁道中、友人高瀬文江さんのコーディネートで下の倉庫がすばらしい披露宴会場になりました。







書家・木村華暢さん、石段に繰り広げる  
50mの「書のパフォーマンス」



今年も福岡から「はる」



サプライズ 副住職が共演

↑書の最後に 壽 泰潤沙織と

4月7日『第17回花まつり』  
晴天に恵まれ、桜も最高！  
たくさんの人でにぎわいました。



劇団「うふふ」の『ぶんぶく茶釜』、人形が観客の中に溶け込み弾ける！





## お盆のお経廻りの予定

- 7月24日 新盆のお宅  
 25日 稲子、長貫、羽鮒、大久保  
 26日(午後～) 源道寺・野中・星山・田中町  
 28日(日) 由比、内房、大久保  
 29日 精進川、下条 30日～8月1日 下条、青木～馬見塚、外神  
 2日 大中里・貴船町・淀師・穂波町・淀川町・泉町・若の宮町  
 3日(土) 万野原新田・大岩・小泉、  
 4日(日) 富士市  
 5日 北山・上井出・山宮・栗倉・村山・舟久保町・宮原・富士見ヶ丘  
 6日 豊町・西町・宮町・大宮～柚野  
 7日～柚野  
 10日(土)と11日(日)は希望者  
 \*当方の都合で日付変更もあります。  
 \*泰然か泰潤のどちらかが伺います。  
 \*変更を希望する方は ご連絡ください。

## 今年新盆を迎える檀家さん

		行年	命日	
1	笠井文子	77	令和5/10/24	東京
2	芦澤清子	72	令和5/11/12	富士
3	大久保和子	84	令和5/12/13	淀師
4	木村宰子	86	令和6/1/20	下条
5	井出雅彦	87	令和6/1/23	精進川
6	菊地とき子	95	令和6/2/27	下条
7	佐野須津美	87	令和6/3/7	富士
8	山本美由紀	48	令和6/3/9	万野原新田
9	佐野英幾	84	令和6/3/21	上井出
10	磯野マサ子	92	令和6/3/20	下柚野
11	遠藤 誠	78	令和6/6/7	下柚野

7月24日に泰然が伺います。

## 住職のひとりごと

興徳寺は海拔230メートル、他の地域に比べれば少し楽かもしれないがそれでも今年の夏は暑いですね。ジチ(根性)がなくなってきた分、草刈りをしてもらいたくない(はかどらない)、雨降りの草刈りはむしろ気持ちがいいけど、ヒルにやられる・・・夜はお寺の庭を鹿やイノシシが闊歩して楽しみにしていた百合の花の蕾をほとんどやられてしまったのはショックでした。

てアチコチ腫れあがってちよつと可哀想、そのうち免疫がつくでしょうか? 8月16日の「施餓鬼法要」ですが新盆を迎える方のご遺族、関係者は是非ご参列ください。卒塔婆を建てお墓にお供えしてもいいしタスマツ行列に参加し川で焚き上げてもいい、よい供養になります。御朱印帳(日蓮宗では御首題帳といいますが)を携えての参詣者が少しづつ増えリピーターに定着して参詣者を変えようとしているうちに月替わりでも対応できるようになりました。(巻頭の図案は7月末からの予定)ご希望の方はどうぞ。



タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

紙面の関係で載せられませんが、6月16日の『興徳寺をきれいにする日』は30数名の方が参加してくれました。初めての方もおられ夏の日の作業に汗を流してくださいました。ありがとうございます。次回は7月21日(日)です。よろしくお願いたします。

泰潤のお嫁さん(沙織さん)を迎えて4ヶ月、明るくてよく気をつく「ウチのセガレにはもったいないような・・・」とてもいい嫁っ子です。都会から来たので虫に刺され

今回のイラストは下柚野・望月美琴さん、今年から静岡の大学生です。それから巻頭詩の背面のイラストは沙織が。【泰然記】